

2022年度第2回小倉競馬特別レース名解説

<第1日>

○ 唐戸特別

唐戸(からと)は、山口県下関市の地名。古くから栄えた港町であり、旧下関英国領事館、旧秋田商会ビルや下関南部町郵便局など、レトロな建物が建ち並ぶ。また、ふぐで有名な唐戸市場がある。

○ 帆柱山特別

帆柱山(ほばしらやま)は、北九州市にある標高488mの山。名は、神功皇后の三韓出兵の際、この山から船舶や帆柱にする木材を切り出したことに由来する。東に続く皿倉山とともに北九州国定公園となっている。

○ 和布刈特別

和布刈(めかり)は、北九州市門司区の地名。名は、和布刈神社に由来する。「和布刈」とは、わかめを刈り取ることを意味し、同神社では旧暦の元旦に神官がわかめを刈り取る行事「和布刈神事」が行われている。

<第2日>

○ あすなろ賞

あすなろ(翌檜)は、ヒノキ科の常緑高木。日本固有種で、全国の山地に自生し、大きいものは高さ30m、直径1mにもなる。葉はやや厚く大きなウロコ状で緑色をしており、裏面には雪白色の模様がある。抗菌性と耐湿性に優れ、古くから木材として用いられている。

○ 太宰府特別

太宰府(だざいふ)は、福岡県中西部の市。律令制下で西海道(九州全土)を統括した官庁である大宰府が置かれていた。また、「学問・至誠・厄除けの神」と崇められる菅原道真を祀った太宰府天満宮があり、全国から多くの参拝者が訪れる。

○ 北九州短距離ステークス

北九州(きたきゅうしゅう)は、福岡県北部にある政令指定都市。同市の官営八幡製鐵所関連施設を含む「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」が世界文化遺産に登録されている。

なお、同市は小倉競馬場の所在地でもある。

<第3日>

○ 脊振山特別

脊振山（せふりさん）は、福岡県と佐賀県の境にある脊振山地の主峰で、標高 1,055m の山。頂上には脊振神社がある。また、鎌倉時代に栄西禪師が宋の茶を移植したことで知られ、日本茶栽培の発祥地とされる。

○ 皿倉山特別

皿倉山（さらくらやま）は、北九州市八幡東区にある山。西に続く帆柱山とともに北九州 国定公園となっている。山頂にある展望台からは洞海湾沿岸の工業地帯や関門海峡を一望でき、夜景が美しいことで知られている。

○ 大濠特別

大濠（おおほり）は、福岡市中央区の地名。福岡城の外濠を利用して造られた大濠公園が有名。池の周りには、ツツジや柳が植えられており、敷地内には、県立美術館、能楽堂、日本庭園などもある。

<第4日>

○ あざみ賞

あざみ（薊）は、キク科アザミ属の多年草の総称。世界中に約 250 種あり、このうち日本ではおよそ 80 種が自生している。身に付けていると、北欧神話に登場する雷神トールの加護が得られるとされており、「雷草」とも呼ばれている。花言葉は「厳格」「独立」。

○ 伊万里特別

伊万里（いまり）は、佐賀県西部の伊万里湾に臨む市。湾奥の伊万里港は、かつて陶磁器や石炭の積み出し港として栄えた。近年では大規模な臨海工業団地を造成し、造船、I C 関連産業、木材関連産業等が集まり近代的な工業港として発展している。南部の大川内や平尾は伊万里焼の産地として有名。

○ 小倉大賞典（GⅢ）

本競走は、昭和 42 年に創設された重賞競走。創設以来、スタンド改築等を除き、小倉競馬場芝 1800m のハンデキャップ戦で実施されており、マイル～中距離路線での飛躍を狙う馬にとって重要な競走となっている。

<第5日>

○ 春麗ジャンプステークス

春麗（しゅんれい）は、すべてが美しく映る春のこと。本競走から障害重賞競走に出走する馬も多く、後の障害戦線を占う競走となっている。

○ 合馬特別

合馬（おうま）は、北九州市小倉南区の地名。名は、大化の改新により「駅伝の制」が導入された際、都と全国の国府を結ぶ幹線道路上の駅に、官吏公用で諸国へ行く者の為に備えられていた馬（駅馬）が、当地にて落ち合い鼻を突き合わせたことに由来する。なお、周辺の竹林で採られる筍は「合馬たけのこ」として知られる。

○ 早鞆特別

早鞆（はやとも）は、九州の北端、門司崎と下関市壇之浦との間の水路。早鞆瀬戸（はやともせと）の名で知られる。この付近は海峡の中で最も狭く、本州と九州の間の海峡の幅は約 630m。潮の流れも強く、最大 9 ノット（約 17 km /h）に達することもある。

○ 八代特別

八代（やつしろ）は、熊本県中南部の市。江戸時代には熊本藩家老松井氏の城下町として栄え、八代城や松濱軒などの旧跡が多く残る。また、低地では農業が盛んで、イグサの生産量は日本一を誇る。

なお、同市には JRA の場外勝馬投票券発売所であるウインズ八代がある。

<第6日>

○ ネモフィラ賞

ネモフィラ（Nemophila）は、ハゼリソウ科の一年草。原産地は北アメリカ。春に淡青色の花を咲かせる。名は、ギリシャ語の「ネモス（小さな森）」と「フィロ（愛する）」に由来する。花言葉は「愛国心」「可憐」。

○ 稲佐山特別

稲佐山（いなさやま）は、長崎県長崎市にある山。山頂にある展望台から眺める夜景は、「1,000 万ドルの夜景」と称される。晴れた日の昼間には長崎市街だけでなく雲仙、天草、五島列島まで眺めることができる人気スポットである。

○ 下関ステーキス

下関（しものせき）は、山口県西端に位置する市。古くより九州や中国大陸からの本州の玄関口として栄えた。また、平安時代の壇之浦の戦いや、江戸時代末期に起きた下関戦争など、歴史的舞台となった都市として知られている。